# NEWアダージオFK

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜自由選択コース＞

## 特別勘定の月次運用レポート
## 2025年5月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

## 変額個人年金保険のリスクと手数料について

**●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。**

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.10%の割合で資産残高から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.21%（税抜1.10%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

＊この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

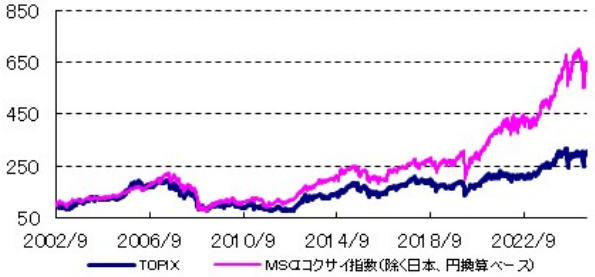
（管）ORI-030

# 市　　場　　概　　況

| | 代表的な指標の騰落率 | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本株式 | 日経平均株価 | 5.33% | 2.18% | ▲ 0.64% | ▲ 1.36% | 39.17% |
| | TOPIX（東証株価指数） | 5.03% | 4.45% | 4.51% | 1.05% | 46.47% |
| 日本債券 | NOMURA－BPI総合 | ▲ 1.29% | ▲ 1.68% | ▲ 3.16% | ▲ 2.76% | ▲ 8.66% |
| 外国株式 | MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース） | 6.92% | ▲ 1.65% | ▲ 3.11% | 3.77% | 54.61% |
| 外国債券 | FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース） | 0.99% | ▲ 0.12% | ▲ 1.27% | ▲ 1.39% | 15.86% |
| 外国為替 | 米ドル対円為替レート（仲値） | 0.91% | ▲ 3.88% | ▲ 4.56% | ▲ 8.21% | 12.21% |

日経平均株価(円)の推移

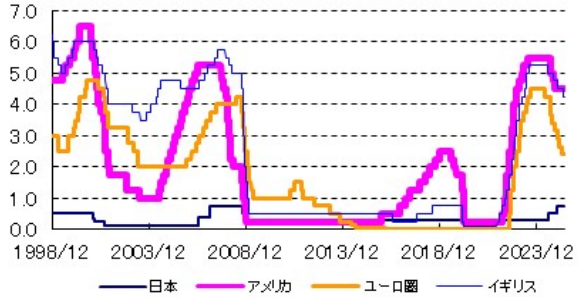
日本と外国の株式市場パフォーマンス推移




＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移




日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 特別勘定（ファンド）グループ

## 特別勘定と主な投資対象の投資信託

| 特別勘定 | 運用資産 | | | | 主な投資対象の投資信託 | 運用会社 | 資産配分(%) | | 資産合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 株　式 | | 債　券 | | | | 投資信託 | 現預金その他 | （百万円） |
| | 日本 | 外国 | 日本 | 外国 | | | | | |
| 日本株式グロース ファンド FIA | ● | | | | フィデリティ・日本成長株・ファンドVA1＊ | フィデリティ投信株式会社 | 97.3% | 2.7% | 632 |
| 日本株式インデックス ファンド225 DW | ● | | | | ダイワ・ストックインデックス ファンド225VA＊ | 大和アセットマネジメント株式会社 | 95.7% | 4.3% | 903 |
| 日本バランスファンド UF | ● | | ● | | 三菱UFJ 積立ファンド（日本バランス型）（愛称：ふくふく） | 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 | 97.4% | 2.6% | 13 |
| 世界株式グロース ファンド NK | ● | ● | | | グローバル成長株ファンド | 日興アセットマネジメント株式会社【運用再委託会社】ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー | 96.0% | 4.0% | 272 |
| 外国債券ファンド PJ | | | | ● | ピムコ・海外債券ファンド＊ | ピムコ ジャパン リミテッド | 96.7% | 3.3% | 127 |
| 世界バランスファンド GSB | ● | ● | ● | ● | ダ・ヴィンチ VA2 | ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 | 97.1% | 2.9% | 261 |
| 世界バランスファンド FIA | ● | ● | ● | ● | フィデリティ・バランス・ファンドVA1＊ | フィデリティ投信株式会社 | 96.6% | 3.4% | 582 |
| マネーファンド MB | | | ● | | 三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド） | 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 | 97.0% | 3.0% | 210 |

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

## 投資信託の運用方針

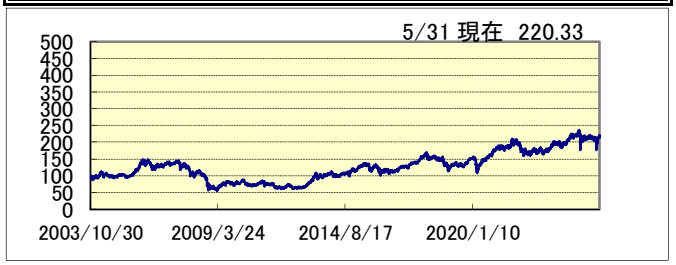
| 主な投資対象の投資信託 | 運用方針 |
|---|---|
| フィデリティ・日本成長株・ファンドVA1＊ | 成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行います。 |
| ダイワ・ストックインデックス ファンド225VA＊ | 主に日本の上場株式に投資し、日経平均トータルリターン・インデックス（日経225（配当込み））に連動する投資成果の獲得を目指します（投資対象銘柄のうち200銘柄以上に、原則として等株数投資を行ないます）。 |
| 三菱UFJ 積立ファンド（日本バランス型）（愛称：ふくふく） | わが国の株式・債券に分散投資を行います。原則として各資産への実質投資比率は、国内株式50%、国内債券50%程度とします。株式部分と債券部分は独立して運用し、それぞれのベンチマークを上回る投資成果の獲得を目指します。外貨建資産への投資は行いません。 |
| グローバル成長株ファンド | 主に日本を含む先進各国の上場株式に投資します。世界的な視点で見て競争力に優れた成長企業の株式に投資し、中長期的な観点から、世界株式の代表的指数であるMSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）を上回る投資成果の獲得を目指します。 |
| ピムコ・海外債券ファンド＊ | 主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。 |
| ダ・ヴィンチ VA2 | 日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100%円ヘッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。 |
| フィデリティ・バランス・ファンドVA1＊ | 主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および短期金融商品に分散投資し、合成ベンチマークの配分を中心とした資産配分によって投資成果の獲得を目指します。 |
| 三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド） | 内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。 |

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

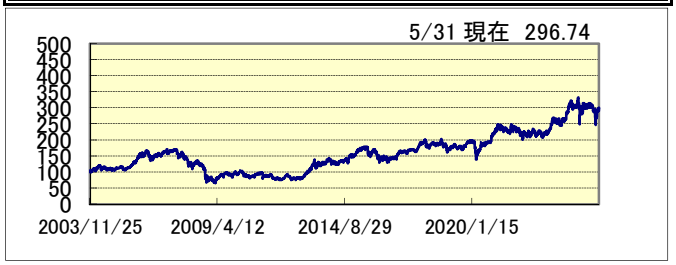
# 特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

## 日本株式グロースファンド FIA



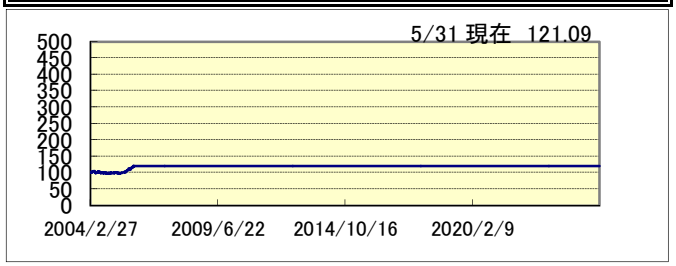

| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 5.22% | 6.35% | 4.13% | −1.34% | 29.24% | 120.33% |

## 日本株式インデックスファンド225 DW



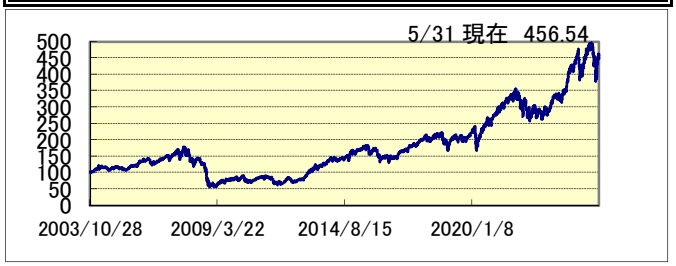

| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4.91% | 2.08% | −1.20% | −2.45% | 34.32% | 196.74% |

## 日本バランスファンド UF



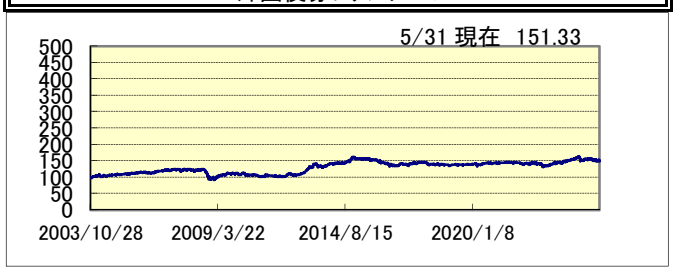

| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 21.09% |

## 世界株式グロースファンド NK



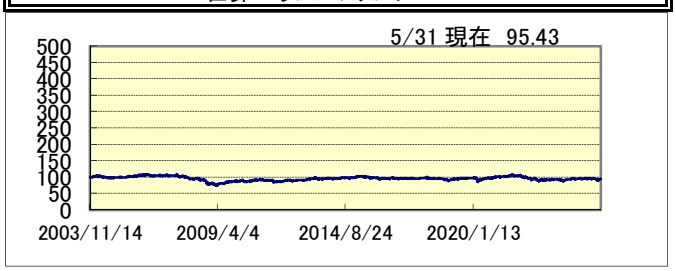

| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 8.65% | −0.49% | −0.71% | 4.83% | 58.30% | 356.54% |

## 外国債券ファンド PJ



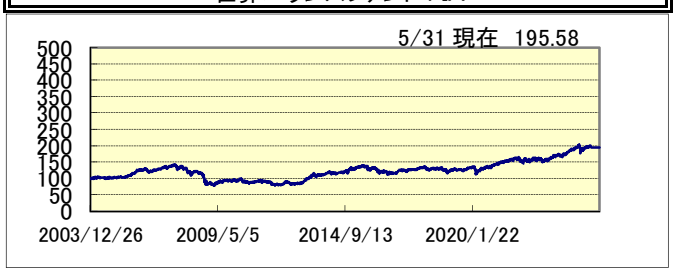

| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0.84% | −0.64% | −1.64% | −4.28% | 7.81% | 51.33% |

## 世界バランスファンド GSB



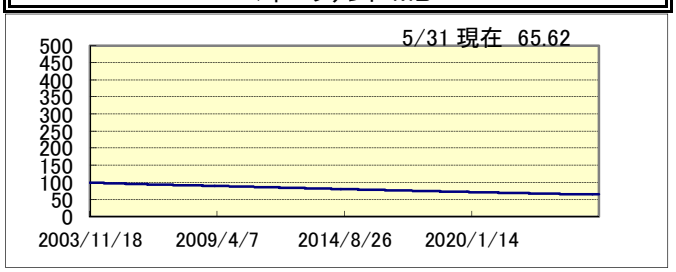

| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2.61% | −0.21% | −1.60% | 0.63% | −1.62% | −4.57% |

## 世界バランスファンド FIA




| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0.00% | 0.00% | −0.01% | 1.15% | 25.23% | 95.58% |

## マネーファンド MB




| 期間収益率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0.00% | 0.00% | −0.32% | −0.63% | −4.68% | −34.38% |

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
## 日本株式グロースファンド FIA

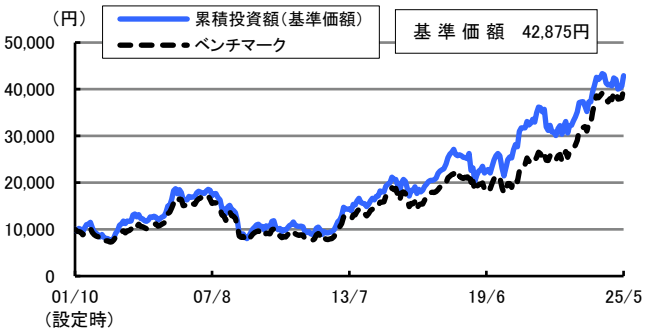
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA1（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

### 主要投資対象
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

### 運 用 方 針
成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

### 設定来の運用実績　（2025年5月30日現在）




※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

### 累積リターン　（2025年5月30日現在）

| | 直近1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | 5.56% | 7.04% | 5.30% | 0.85% | 39.11% | 328.75% |
| ベンチマーク | 5.10% | 5.69% | 5.92% | 3.58% | 57.85% | 300.31% |

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：TOPIX（配当込）

＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

### 過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

| | |
|---|---|
| 第 19期(2020.11.30) | 0円 |
| 第 20期(2021.11.30) | 0円 |
| 第 21期(2022.11.30) | 0円 |
| 第 22期(2023.11.30) | 0円 |
| 第 23期(2024.12.02) | 0円 |

| 純資産総額 | 13.1 億円 | （2025年5月30日現在） |
|---|---|---|

### コメント　（2025年5月30日現在）
当月の東京株式市場は、トランプ政権の関税政策に対する警戒感が和らいだことを背景に、前月に続き上昇しました。
米国が英国と貿易協定を締結し、中国とは相互追加関税の引き下げに合意するなど、米関税政策が緩和方向に進展するとの期待が高まったことに加え、日米の金融政策が現状維持となったことや、主要企業の2024年度決算発表で自社株買いの設定が相次いだことも押し上げ要因となり、日本株は月半ばまで堅調に推移しました。その後は、米国債の格下げによる財政悪化懸念から米長期金利が上昇し、円高・ドル安が進行したことや、利益確定売りが重なり上値を抑えられる展開となりました。しかし為替が円安に転じたことや、米国が欧州連合（EU）に対する追加関税の発動を延期したことを受けて株価は再び上昇すると、米国際貿易裁判所がトランプ関税の大部分を違法と判断したことや、米半導体大手の好決算なども支援材料となって上値を広げました。ただし、米連邦巡回区控訴裁判所が米国際貿易裁判所の判決執行を一時的に停止する判断を下したことから、最終日は反落し、月の上昇幅をやや縮めて月を終えました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋5.10%、日経平均株価は＋5.33%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

### 組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース）　（2025年4月30日現在）

| | 銘 柄 | 業 種 | 比率 |
|---|---|---|---|
| 1 | ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ | 電気機器 | 5.0% |
| 2 | 三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ | 銀行業 | 4.4% |
| 3 | 日立製作所 | 電気機器 | 4.2% |
| 4 | 豊田自動織機 | 輸送用機器 | 3.5% |
| 5 | 三井住友ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ | 銀行業 | 3.3% |
| 6 | 東京海上ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ | 保険業 | 3.0% |
| 7 | ｷｰｴﾝｽ | 電気機器 | 2.7% |
| 8 | ﾄﾖﾀ自動車 | 輸送用機器 | 2.7% |
| 9 | 伊藤忠商事 | 卸売業 | 2.7% |
| 10 | ﾘｸﾙｰﾄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ | サービス業 | 2.4% |

（ 組入銘柄数 ： 167 ）　上位10銘柄合計　34.1%
（対純資産総額比率）

### ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2025年4月30日現在）

資産別組入状況

| | |
|---|---|
| 株式 | 97.9% |
| 新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ) | － |
| 投資信託・投資証券 | － |
| 現金・その他 | 2.1% |

市場別組入状況

| | |
|---|---|
| 東証プライム | 96.1% |
| 東証スタンダード | 1.4% |
| 東証グロース | 0.4% |
| その他市場 | － |

組入上位5業種

| | |
|---|---|
| 電気機器 | 20.0% |
| 銀行業 | 9.6% |
| 輸送用機器 | 8.7% |
| 小売業 | 6.9% |
| 卸売業 | 5.4% |

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
## 日本株式インデックスファンド225 DW

【特別勘定が投資する投資信託】
適格機関投資家専用・ダイワ・ストックインデックスファンド225VA

【運用会社】
大和アセットマネジメント株式会社

### 主要投資対象
日本の上場株式。主にストックインデックス225・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

### 運 用 方 針
わが国の株式市場の動きを長期的にとらえることを目標に、日経平均トータルリターン・インデックスをモデルとして運用を行います。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

### ≪基準価額・純資産の推移≫

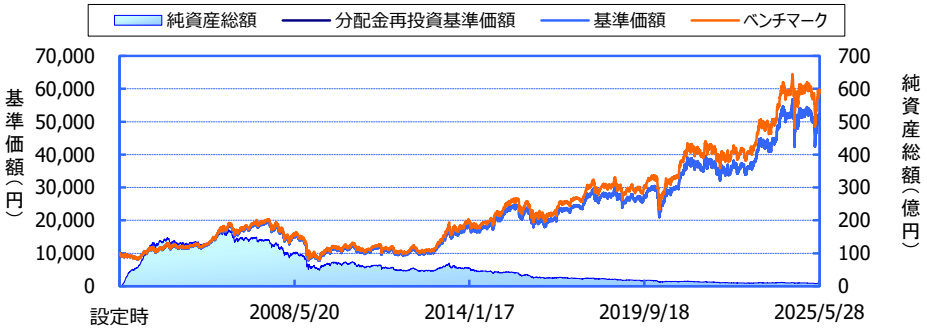
2025年5月30日時点

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 51,685円 |
| 純資産総額 | 8.64億円 |

期間別騰落率

| 期間 | ファンド | ベンチマーク |
|---|---|---|
| 1カ月間 | +5.3 % | +5.3 % |
| 3カ月間 | +2.9 % | +3.0 % |
| 6カ月間 | +0.1 % | +0.4 % |
| 1年間 | −0.1 % | +0.6 % |
| 3年間 | +45.0 % | +47.9 % |
| 5年間 | +85.3 % | +90.9 % |
| 年初来 | −4.2 % | −4.0 % |
| 設定来 | +416.9 % | +490.8 % |

当初設定日（2002年9月24日）～2025年5月30日




※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。
※当ファンドは日経平均トータルリターン・インデックスをベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。
※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

### ≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

| 決算期（年.月） | | 分配金 |
|---|---|---|
| 第1～16期 | 合計: | 0円 |
| 第17期 | (19.09) | 0円 |
| 第18期 | (20.09) | 0円 |
| 第19期 | (21.09) | 0円 |
| 第20期 | (22.09) | 0円 |
| 第21期 | (23.09) | 0円 |
| 第22期 | (24.09) | 0円 |
| 分配金合計額 | | 設定来：0円 |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

### ≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

| 資産 | 銘柄数 | 比率 |
|---|---|---|
| 国内株式 | 225 | 97.7% |
| 国内株式先物 | 1 | 2.3% |
| 不動産投資信託等 | --- | --- |
| コール・ローン、その他 | | 2.3% |
| 合計 | 226 | --- |

国内株式 市場・上場別構成　合計97.7%

| | |
|---|---|
| 東証プライム市場 | 97.7% |
| 東証スタンダード市場 | --- |
| 東証グロース市場 | --- |
| 地方市場・その他 | --- |

国内株式 業種別構成　合計97.7%

| 東証33業種名 | 比率 |
|---|---|
| 電気機器 | 24.0% |
| 小売業 | 13.0% |
| 情報・通信業 | 12.3% |
| 医薬品 | 5.8% |
| 化学 | 5.7% |
| サービス業 | 4.8% |
| 機械 | 4.6% |
| 輸送用機器 | 4.0% |
| 精密機器 | 3.4% |
| その他 | 20.2% |

組入上位10銘柄　合計37.4%

| 銘柄名 | 東証33業種名 | 比率 |
|---|---|---|
| ファーストリテイリング | 小売業 | 9.9% |
| 東京エレクトロン | 電気機器 | 5.9% |
| アドバンテスト | 電気機器 | 5.0% |
| ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 3.9% |
| KDDI | 情報・通信業 | 2.6% |
| リクルートホールディングス | サービス業 | 2.2% |
| ＴＤＫ | 電気機器 | 2.1% |
| 信越化学 | 化学 | 2.0% |
| 中外製薬 | 医薬品 | 1.9% |
| テ ル モ | 精密機器 | 1.8% |

### ファンドマネージャーのコメント

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

当ファンドは、主にストックインデックス225・マザーファンド受益証券に投資するファミリーファンド方式のインデックスファンドです。
マザーファンドでは、原則として日経平均株価構成銘柄すべてを組み入れて運用を行っております。
今後の運用につきましても、マザーファンドへの投資を通じて、ベンチマークへの連動を目指し、マザーファンドでは原則として日経平均株価採用銘柄すべてに等株数投資を行い、株式の組入比率は高位を保ちます。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本バランスファンド UF

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　積立ファンド（日本バランス型）（愛称：ふくふく）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

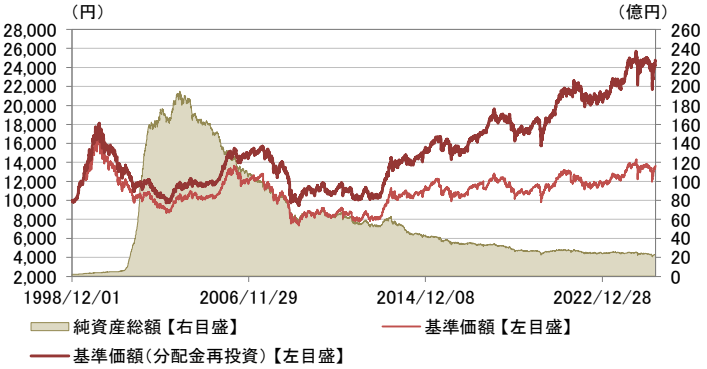
## 主要投資対象

日本の上場および店頭登録株式、国内の債券・金融商品。主に日本株式マザーファンド、日本短期債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

## 運　用　方　針

わが国の株式・債券に分散投資を行います。原則として各資産への実質投資比率は、国内株式50%、国内債券50%程度とします。
株式部分と債券部分は独立して運用し、それぞれのベンチマークを上回る投資成果の獲得を目指します。外貨建資産への投資は行いません。

## ■基準価額および純資産総額の推移




・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

## ■基準価額および純資産総額

| | |
|---|---|
| 基準価額（1万口当たり） | 13,627円 |
| 前月末比 | +616円 |
| 純資産総額 | 23.37億円 |

## ■分配金実績（1万口当たり、税引前）

| 決算期 | 決算日 | 分配金 |
|---|---|---|
| 第26期 | 2024/07/22 | 150円 |
| 第25期 | 2023/07/24 | 100円 |
| 第24期 | 2022/07/22 | 0円 |
| 第23期 | 2021/07/26 | 900円 |
| 第22期 | 2020/07/22 | 400円 |
| 第21期 | 2019/07/22 | 0円 |
| 設定来累計 | | 7,200円 |

## ■騰落率

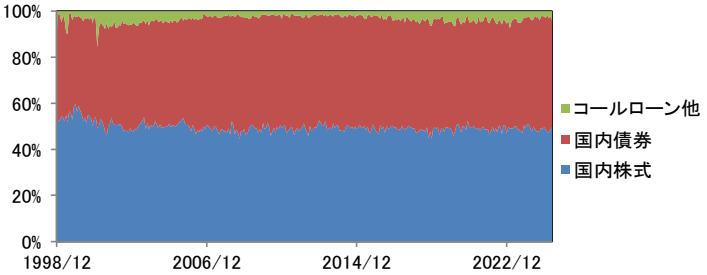
| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | 4.7% | 3.5% | 0.8% | −0.3% | 18.6% | 147.0% |

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

## ■資産構成

| | 基本資産配分 | ﾌｧﾝﾄﾞの資産構成 | マザーファンド組入比率 |
|---|---|---|---|
| 国内株式 | 50.0% | 50.9% | 52.4% |
| 国内債券 | 50.0% | 44.3% | 47.4% |
| コールローン他 | 0.0% | 4.8% | ― |

## ■資産別組入比率推移




## ■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 62銘柄

| 銘柄 | 業種 | 比率 |
|---|---|---|
| 1 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 3.6% |
| 2 ソニーグループ | 電気機器 | 2.4% |
| 3 日立製作所 | 電気機器 | 2.0% |
| 4 東京エレクトロン | 電気機器 | 1.9% |
| 5 古河電気工業 | 非鉄金属 | 1.5% |
| 6 川崎重工業 | 輸送用機器 | 1.4% |
| 7 東京海上ホールディングス | 保険業 | 1.4% |
| 8 FOOD　&　LIFE　COMPANIE | 小売業 | 1.4% |
| 9 アシックス | その他製品 | 1.3% |
| 10 ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 1.2% |

## ■運用担当者コメント

【三菱UFJ　積立ファンド（日本バランス型）の状況】
・運用方針に基づき、「日本株式マザーファンド」、「日本短期債券マザーファンド」の組入比率は概ね50%程度を維持しました。
・「日本株式マザーファンド」の基準価額は上昇し、ベンチマークを上回る運用成果となりました。銘柄選択要因については「古河電気工業」「イビデン」「日東紡績」などがプラスに寄与しましたが、「リガク・ホールディングス」「メイコー」「アストロスケールホールディングス」などがマイナスに影響しました。また、業種配分要因としては非鉄金属、陸運業などがプラスに寄与しましたが精密機器、証券、商品先物取引業などがマイナスに影響しました。
※TOPIXは配当込み指数を使い騰落率を比較しています。
・「日本短期債券マザーファンド」では、ファンド全体のデュレーションはベンチマーク対比中立を維持しました。
債券種別はポートフォリオの利回り向上を狙い、一般債の組入比率を高めに維持しました。
（今後の運用方針）
・「日本株式マザーファンド」では、企業側との面談などを通じて業績見通しに関する調査・分析を引き続き実施し、今後、業績拡大・回復が期待できる銘柄などについて、株価水準を考慮しつつ投資を行っていく方針です。
・「日本短期債券マザーファンド」では、デュレーションは当面ベンチマーク対比中立を基本にリスク度合いを調整し、債券種別は一般債のオーバーウェイトを維持する方針です。
（運用責任者：加納 良樹）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本バランスファンド UF

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　積立ファンド（日本バランス型）（愛称：ふくふく）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

## 主要投資対象

日本の上場および店頭登録株式、国内の債券・金融商品。主に日本株式マザーファンド、日本短期債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

## 運　用　方　針

わが国の株式・債券に分散投資を行います。原則として各資産への実質投資比率は、国内株式50%、国内債券50%程度とします。
株式部分と債券部分は独立して運用し、それぞれのベンチマークを上回る投資成果の獲得を目指します。外貨建資産への投資は行いません。

## 各マザーファンドの運用状況　日本株式マザーファンド

### ■騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | 9.8% | 7.1% | 2.1% | 0.7% | 48.0% | 562.1% |
| ベンチマーク | 5.1% | 5.7% | 5.9% | 3.6% | 57.9% | 295.1% |

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。
・ベンチマークは東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。
・2023年11月30日に、ベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

### ■組入上位10業種

| | 業種 | 比率 | ベンチマーク構成比 |
|---|---|---|---|
| 1 | 電気機器 | 20.5% | 17.4% |
| 2 | 情報・通信業 | 10.3% | 7.9% |
| 3 | 銀行業 | 8.9% | 9.0% |
| 4 | 輸送用機器 | 8.3% | 7.3% |
| 5 | 化学 | 8.1% | 4.8% |
| 6 | 小売業 | 7.0% | 4.8% |
| 7 | 卸売業 | 5.0% | 7.0% |
| 8 | 機械 | 5.0% | 5.9% |
| 9 | 医薬品 | 4.0% | 4.1% |
| 10 | 保険業 | 3.6% | 3.4% |

### ■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 62銘柄

| | 銘柄 | 業種 | 比率 | ベンチマーク構成比 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 6.8% | 3.2% |
| 2 | ソニーグループ | 電気機器 | 4.7% | 3.3% |
| 3 | 日立製作所 | 電気機器 | 3.9% | 2.6% |
| 4 | 東京エレクトロン | 電気機器 | 3.6% | 1.2% |
| 5 | 古河電気工業 | 非鉄金属 | 2.9% | 0.1% |
| 6 | 川崎重工業 | 輸送用機器 | 2.7% | 0.2% |
| 7 | 東京海上ホールディングス | 保険業 | 2.6% | 1.4% |
| 8 | FOOD　&　LIFE　COMPANIE | 小売業 | 2.6% | 0.1% |
| 9 | アシックス | その他製品 | 2.6% | 0.3% |
| 10 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 2.4% | 0.9% |

## 各マザーファンドの運用状況　日本短期債券マザーファンド

### ■騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | −0.1% | 0.3% | 0.2% | 0.2% | −0.3% | 12.1% |
| ベンチマーク | −0.1% | 0.3% | 0.1% | 0.0% | −0.5% | 10.1% |

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。
・ベンチマークはNOMURA－BPI短期インデックスです。

### ■種別組入比率

| 種別 | 比率 | ベンチマーク構成比 |
|---|---|---|
| 国債 | 0.1% | 85.0% |
| 地方債 | 0.0% | 5.8% |
| 政府保証債 | 0.0% | 1.2% |
| 金融債 | 3.1% | 0.3% |
| 事業債 | 77.2% | 6.1% |
| 円建外債 | 13.1% | 0.4% |
| MBS | 0.0% | 1.2% |
| ABS | 0.0% | 0.1% |

### ■債券格付分布

| 格付種類 | 比率 | 銘柄数 |
|---|---|---|
| AAA格 | 0.0% | 0 |
| AA格 | 35.3% | 34 |
| A格 | 54.5% | 53 |
| BBB格 | 3.7% | 5 |
| BB格以下 | 0.0% | 0 |
| 無格付 | 0.0% | 0 |

### ■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 92銘柄

| | 銘柄 | 種別 | クーポン | 償還日 | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第21回クレディ・アグリコル・エス・エー（2025） | 円建外債 | 1.5520% | 2029/06/05 | 2.6% |
| 2 | い第858号商工債券 | 金融債 | 0.0900% | 2026/11/27 | 2.6% |
| 3 | 第52回三菱UFJリース | 事業債 | 0.3750% | 2027/07/13 | 2.6% |
| 4 | 第13回資生堂（サステナビリティ） | 事業債 | 0.4500% | 2027/12/08 | 2.6% |
| 5 | 第24回パナソニックホールディングス | 事業債 | 0.7090% | 2028/09/14 | 2.6% |
| 6 | 第35回イオンモール | 事業債 | 0.7600% | 2028/04/28 | 2.6% |
| 7 | 第33回東京センチュリー | 事業債 | 0.2800% | 2028/04/27 | 2.6% |
| 8 | 第23回積水ハウス | 事業債 | 1.0570% | 2028/02/14 | 2.1% |
| 9 | 第4回香港上海銀行 | 円建外債 | 0.8080% | 2027/06/25 | 2.1% |
| 10 | 第17回イオンフィナンシャルサービス | 事業債 | 0.3400% | 2026/07/31 | 2.1% |

### ■ポートフォリオ特性

| | 当月末 |
|---|---|
| 最終利回り | 1.1% |
| 直接利回り | 0.5% |
| デュレーション | 2.1 |

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。・なお、付加記号（＋、－等）を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。・NOMURA－BPI短期インデックスとは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA－BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
## 世界株式グロースファンド NK

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバル成長株ファンド
【運用会社】
日興アセットマネジメント株式会社
【運用再委託会社】
ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

### 主要投資対象
主に先進各国の証券取引所上場株式。主にGグロース／海外株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

### 運 用 方 針
主に日本を含む先進各国の上場株式に投資します。世界的な視点で見て競争力に優れた成長企業の株式に投資し、中長期的な観点から、世界株式の代表的指数であるMSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）を上回る投資成果の獲得を目指します。

（データは2025年5月30日現在）

［純資産総額］ 61.75億円
［決算日］ 原則3月25日
［設定日］ 2001年10月2日
［基準価額］ 70,274円
［信託期間］ 無期限
［為替ヘッジ率］ 0.0%

＜運用担当者のコメント＞

5月のグローバル株式は上昇しました。米トランプ政権と貿易相手国の関税交渉進展への期待が高まったほか、堅調な米雇用統計を受けて景気後退への過度な警戒感が後退したことも支えとなり、先月からの回復傾向が続きました。その後も米英の貿易協定合意を好感したほか、米中両政府による相互関税の大幅引き下げの合意を受けて景気に楽観的な見方が増えたことから、ハイテク株を中心に買いが広がり相場上昇をけん引しました。しかし根強いトランプ関税リスクに加え、大規模減税による米財政悪化懸念も重荷となり、上値では利益確定売りが優勢となりました。

当月は、米国の画像処理半導体（GPU）メーカー、ドイツの防衛装備品メーカーの株価が上昇したことはプラス寄与となりました。一方で、米国の製薬会社の株価が下落したことや、非保有としていた米国の電気自動車メーカーの株価が上昇したことはマイナス寄与となりました。投資行動としましては、当月は日本の半導体製造装置会社、フランスの高級品メーカーを購入しました。一方で、日本の自動制御機器メーカー、米国のデジタル家電メーカーを売却しました。

5月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは、一般消費財・サービス、コミュニケーション・サービス、情報技術などで、対してアンダーウェイトとしているのは、金融、生活必需品、エネルギーなどです。

今後も銘柄選択ならびにセクター選択を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

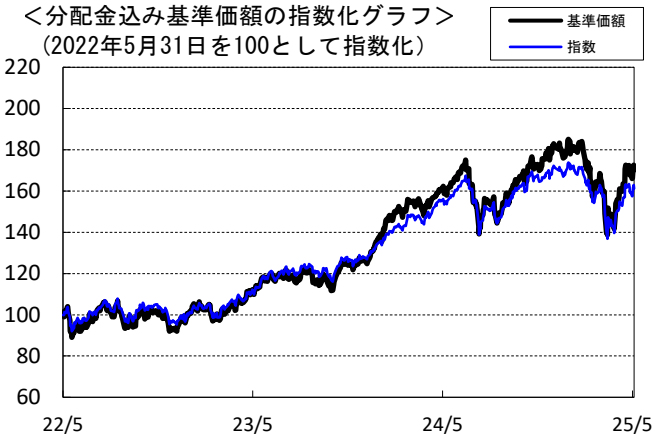
**※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。**

＜分配金込み基準価額のパフォーマンス＞

| | １ヵ月 | ３ヵ月 | ６ヵ月 | １年 | ３年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | 9.51% | -0.21% | 0.20% | 7.20% | 70.24% | 656.16% |
| 指数 | 7.10% | -0.89% | -1.94% | 5.11% | 61.29% | 675.66% |

※基準価額のパフォーマンスは、当ファンドに分配実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

＜分配金込み基準価額の指数化グラフ＞
（2022年5月31日を100として指数化）




※基準価額は信託報酬控除後の値です。
※基準価額は当ファンドに過去３年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※「指数」は、MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）です。MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
※2024年1月26日に、当ファンドのベンチマークを「ＭＳＣＩ－ＷＯＲＬＤインデックス（円ベース）」から「MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）」に変更しました。

＜資産構成比＞

| | |
|---|---|
| 国内株式（先物含む） | 6.1% |
| 外国株式（先物含む） | 90.9% |
| ＣＢ | 0.0% |
| 公社債 | 0.0% |
| 現金その他 | 3.0% |

＜株式組入上位５ヵ国＞

| | 国 名 | 比率 |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ | 61.0% |
| 2 | 日本 | 6.2% |
| 3 | オランダ | 4.9% |
| 4 | ドイツ | 4.2% |
| 5 | フランス | 3.7% |

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数　57銘柄）

| | 銘 柄 | 通 貨 | 業 種 | 比率 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | NVIDIA CORP | アメリカドル | 半導体・半導体製造装置 | 7.0% |
| 2 | AMAZON.COM INC | アメリカドル | 一般消費財・サービス流通 | 5.6% |
| 3 | MICROSOFT CORP | アメリカドル | ソフトウェア・サービス | 5.1% |
| 4 | ALPHABET INC-CL C | アメリカドル | メディア・娯楽 | 4.1% |
| 5 | APPLE INC | アメリカドル | テクノロジー・ハードウェア | 3.2% |
| 6 | META PLATFORMS INC-CLASS A | アメリカドル | メディア・娯楽 | 3.1% |
| 7 | BROADCOM INC | アメリカドル | 半導体・半導体製造装置 | 3.0% |
| 8 | NETFLIX INC | アメリカドル | メディア・娯楽 | 2.5% |
| 9 | MASTERCARD INC - A | アメリカドル | 金融サービス | 2.5% |
| 10 | ELI LILLY & CO | アメリカドル | 医薬品・バイオテクノロジー | 2.4% |

※ 「株式組入上位５ヵ国」「株式組入上位10銘柄」の比率は、マザーファンドの状況で、対純資産総額比です。
「資産構成比」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。
※ このレポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。
※ このレポートのグラフやデータ等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※ 当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】
ピムコ・海外債券ファンド（適格機関投資家専用）

【運用会社】
ピムコジャパンリミテッド

**主要投資対象**

日本を除く世界各国の各種公社債。

**運 用 方 針**

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

[追加型証券投資信託／ファンドオブファンズ]　　[設定日]　2002年9月24日
[基準価額]　25,089 円　　[決算日]　毎年9月25日

1．パフォーマンス

騰落率

| | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 2年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド* | 1.06% | -0.11% | -0.58% | -1.80% | 6.20% | 4.14% |
| ベンチマーク** | 0.99% | -0.12% | -0.87% | -1.39% | 6.01% | 3.74% |
| 超過収益 | 0.07% | 0.01% | 0.29% | -0.41% | 0.19% | 0.40% |

*信託報酬控除後、1年を超える期間は年率換算してあります。
**2022年12月15日以降はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）。
それ以前は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）90%、ICE BofA TONAR オーバーナイトレートインデックス10%を合成したものを使用しています。

分配実績

| | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第5期 | 第6期 | 第7期 | 第8期 | 第9期 | 第10期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日付 | 03/09/25 | 04/09/27 | 05/09/26 | 06/09/25 | 07/09/25 | 08/09/25 | 09/09/25 | 10/09/27 | 11/09/26 | 12/09/25 |
| 金額 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |

| | 第11期 | 第12期 | 第13期 | 第14期 | 第15期 | 第16期 | 第17期 | 第18期 | 第19期 | 第20期 | 第21期 | 第22期 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日付 | 13/09/25 | 14/09/25 | 15/09/25 | 16/09/26 | 17/09/25 | 18/09/25 | 19/09/25 | 20/09/25 | 21/09/27 | 22/09/26 | 23/09/25 | 24/09/25 | - |
| 金額 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |

PIMCO

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】
ピムコ・海外債券ファンド（適格機関投資家専用）

【運用会社】
ピムコ ジャパン リミテッド

**主要投資対象**

日本を除く世界各国の各種公社債。

**運 用 方 針**

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

## 2. ファンド特性

【ファンドの一般的特性】

| | |
|---|---|
| 平均クーポン | 3.59% |
| 平均直接利回り | 3.80% |
| 平均最終利回り | 3.99% |
| 平均デュレーション(年) | 6.84 |
| 平均償還期間(年) | 11.12 |
| 平均格付け* | AA |
| 債券組入比率 | 99.28% |

*平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付けではありません。

【格付構成比】

| 格付 | 組入比率 |
|---|---|
| AAA | 0.00% |
| AA | 79.48% |
| A | 10.45% |
| BBB | 9.99% |
| BB以下 | 0.08% |
| A1/P1 | 0.00% |
| A2/P2 | 0.00% |
| 合計 | 100.00% |

【国別配分】

| 国名 | 組入比率 |
|---|---|
| アメリカ | 38.91% |
| ユーロ圏 | 30.49% |
| イギリス | 13.00% |
| 中国 | 9.20% |
| オーストラリア | 2.94% |
| カナダ | 2.60% |
| デンマーク | 0.76% |
| その他 | 2.11% |
| 合計 | 100.00% |

【種類別配分】

| セクター名 | 組入比率 |
|---|---|
| 国債、エージェンシー債 | 69.62% |
| モーゲージ債、アセットバック債 | 23.85% |
| 社債 | 5.19% |
| キャッシュ等* | 1.34% |
| 合計 | 100.00% |

*「キャッシュ等」にはCP等も含まれます。

## 3. 運用担当者のコメント

**《市場コメント》**

米国債券相場は、月前半、4月の非農業部門雇用者数やISM（米供給管理協会）非製造業総合景況指数が市場予想を上回ったことから、米国景気の底堅さが意識され、下落しました。月半ばにおいては、米国債が格下げされたことや米中間において115%の関税引き下げが合意されたことなども、相場の下押し要因となりました。月末にかけては、関税交渉の進展が遅いEU（欧州連合）に対して50%への関税引き上げが示唆される等、関税政策の不確実性が改めて意識されたほか、失業保険の新規申請件数等が市場予想を上回ったことを受けて、景気後退の懸念が高まったことから上昇したものの、月を通じてみると米国債券相場は下落しました。（2年債利回りは前月比0.29%上昇、10年債利回りは前月比0.24%上昇しました。）欧州債券相場は、月前半、4月のユーロ圏コアCPI（消費者物価指数）が市場予想を上回ったことに加え、米英間において貿易協定が締結されたことや米中間の貿易交渉において関税の大幅引き下げが合意されるなど、景気減速に対する過度な懸念が後退したことから、下落しました。その後は、5月サービス部門PMI（購買担当者景気指数）が市場予想を下回わるなど景気減速リスクが改めて意識されたことに加え、米トランプ大統領がEUに対し50%への関税引き上げを示唆したことを受け、貿易摩擦への警戒感が再燃したことなどから、欧州債券は買い戻される展開となり、月を通じてみると、欧州債券相場は上昇しました。（2年債利回りは前月比0.09%上昇、10年債利回りは前月比0.06%上昇しました。）英国債券相場は、月前半、BOE（イングランド銀行）が市場の予想通り政策金利の引き下げを実施したものの、米英間において貿易協定が締結されたことや米中間の貿易交渉において関税の大幅引き下げが合意されたことを受け、景気減速に対する過度な懸念が後退したことから、大きく下落する展開となりました。その後も、4月のCPIや小売売上高が市場予想を上回るなど堅調な経済指標の発表が続いたことから、景気減速懸念が和らぐなか、上値の重い展開が続きました。月を通じてみても、英国債券相場は下落しました。（2年債利回りは前月比0.22%上昇、10年債利回りは前月比0.21%上昇しました。）日本債券市場では、月前半、米中間の関税協議の進展への期待を背景に投資家心理が改善したことから、株式などのリスク資産が買われる一方、安全資産である国債などは売られる展開となり、相場は下落しました。月後半にかけても、米中間において関税の大幅引き下げが合意されたことや、米国貿易裁判所がトランプ政権の関税政策の多くを違法と判断したことを受け、米国の関税政策に伴う景気減速懸念が緩和されたことから、上値の重い展開が続き、月を通じてみると、日本債券相場は下落しました。（2年債利回りは前月比0.06%上昇、10年債利回りは前月比0.18%上昇しました。）

**《パフォーマンス》**

先月のパフォーマンスはプラス1.06%となり、ベンチマークを0.07%上回りました。英国やオーストラリアの金利リスクを多めにしたことがマイナスに寄与した一方、米国の政府系モーゲージ債への投資や欧州における金利リスクを少なめにしたことがプラスに寄与しました。

**《今月の運用方針》**

保護主義的な政策と財政支出の削減を背景に米国の景気が減速する一方、金融環境の緩和や財政政策の拡大を背景に米国以外の主要国では安定した経済成長が見込まれ、米国経済だけが強いこれまでの状況が変化する見通しです。主要国のインフレ率は、金融危機後の平均を上回る水準で推移する可能性はあるものの、中央銀行の目標水準に近づいており、主要国では年内に50～100bpsの追加利下げが実施されると予想しています。米国については、関税の引き上げや、政府機関の縮小、移民の制限などの大胆な政策により、経済成長が明確に弱まるリスクが存在します。過去数年間、年2.5～3%で推移してきた実質GDP（国内総生産）成長率は、2025年は前年比+0.7%程度まで落ち込むと予想しています。企業が関税コストを価格転嫁することによりインフレが押し上げられ、FRB（米連邦準備制度理事会）の政策目標である2%への回帰が遅れることも十分に考えられます。FRBはインフレの上昇リスクと景気の減速リスクにより難しい政策運営を強いられるものの、年内に50bpsの利下げをすると予想しています。ユーロ圏については、貿易に関する不確実性が成長率の下押し要因として残るものの、防衛やインフラに関する財政措置が下支えとなる見通しです。賃金の伸びのさらなる鈍化などを背景に、インフレは引き続き政策目標水準に収れんしていくと予想しています。ECB（欧州中央銀行）は今後も慎重な利下げを継続し、最終的な政策金利水準は1.5%程度になるとみています。ファンドの運用に際しては、他主要国対比で投資妙味が高いと考えられる英国やオーストラリアの金利リスクを多めにする一方、米国やユーロ圏の金利リスクを少なめとし、全体では金利リスクを前月に比べて積み増しました。セクター戦略については、政府保証等により高い健全性を維持している政府系モーゲージ債やリスクを考慮しても魅力的な利回りを提供すると考えられる証券化商品などに選択的に投資します。

＊ 将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

市況データ出所：ブルームバーグ

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

## 世界バランスファンド GSB

【特別勘定が投資する投資信託】

ダ・ヴィンチ VA2

【運用会社】

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

### 主要投資対象

日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品。主にダ・ヴィンチ マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

### 運 用 方 針

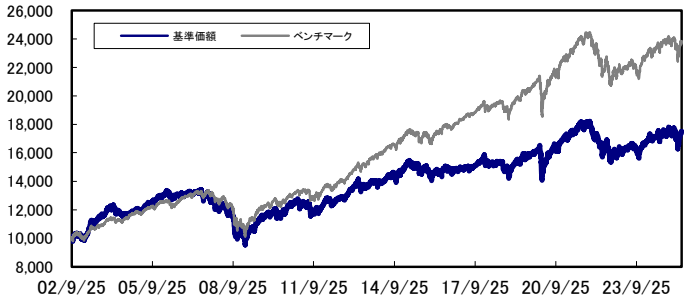
日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100%円ヘッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。

基準日：　2025年5月30日

## 運用の特徴

1. 主としてマザーファンドへの投資を通じて、日本を含む先進国を中心とした世界の株式、債券と円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
2. 本ファンドのベンチマークは、MSCIワールド・インデックス40%＋JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（グローバル）40%（ともに為替円ヘッジ、円ベース）＋日本円1か月TIBOR 20%を使用しております。
3. 為替は100%円ヘッジを基本としています。
4. 資産配分比率、株式・債券・通貨の国別配分比率の変更を行い、収益の向上を目指します。
5. コンピューター・モデルを用いた計量運用を行います。
6. 本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

## 設定来の実績　（2002年9月25日）




（注）上記のグラフは基準価額（信託報酬控除後、課税前分配金再投資）およびベンチマークを、設定日を10000として指数化した実績です。

## 騰落率

| | 実績 | ベンチマーク |
|---|---|---|
| 過去1ヶ月 | 2.87% | 1.91% |
| 過去2ヶ月 | 2.50% | 1.93% |
| 過去3ヶ月 | 0.18% | −0.52% |
| 過去6ヶ月 | −0.78% | −0.99% |
| 過去1年 | 2.68% | 3.00% |
| 過去2年 | 7.62% | 8.62% |
| 過去3年 | 4.64% | 5.88% |
| 設定来 | 75.18% | 138.45% |

（注）分配金再投資の基準価額の騰落率です。
下記※もご覧ください。

## 基準価額および純資産総額

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 17,518円 |
| 設定来分配金 | 0円 |
| 純資産総額 | 2.5億円 |

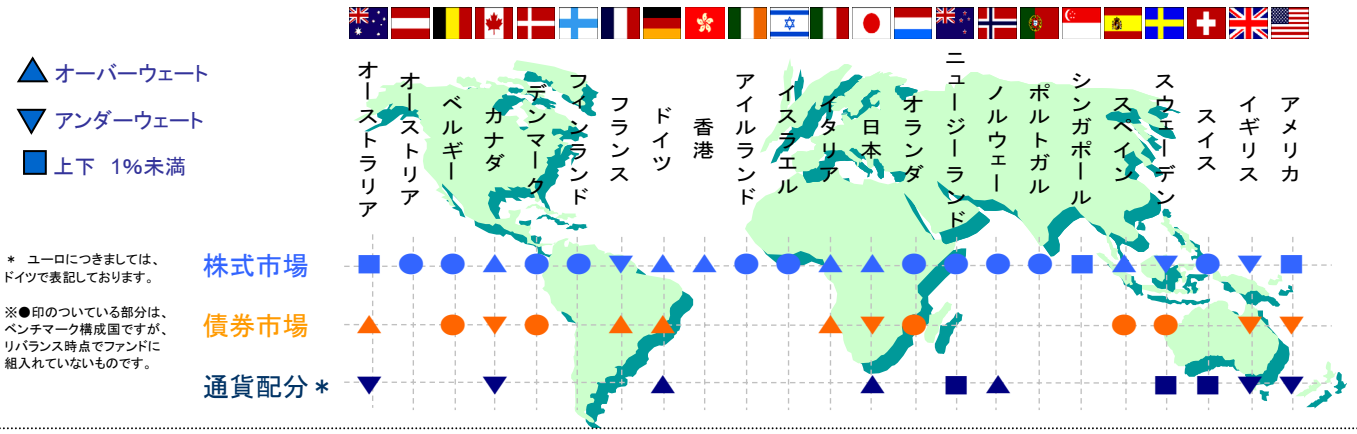
（注）基準価額は分配落ち後のものです。

## 資産構成

| | 基本アセットミックス | ファンド |
|---|---|---|
| 世界株式 | 40.0% | 44.1% |
| 世界債券 | 40.0% | 36.8% |
| 円短期金融商品 | 20.0% | 19.2% |
| 合計 | 100.0% | 100.0% |

※上記の基準価額、分配金再投資基準価額およびファンドの期間別騰落率は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額およびファンド（分配金再投資）の騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。本ファンドの騰落率をベンチマークと比較して評価することは、特に1年未満程度の短期間については資産の評価時点や評価為替レート等の差異の影響が相対的に大きく、必ずしも適切でない場合がありますのでご留意ください。また、ベンチマークには直接投資することはできず、費用や流動性等の市場要因なども考慮されておりません。

## ポジション（リバランス時）




・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド GSB

【特別勘定が投資する投資信託】

ダ・ヴィンチ VA2

【運用会社】

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

**主要投資対象**

日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品。主にダ・ヴィンチ マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

**運 用 方 針**

日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100%円ヘッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。

基準日：　2025年5月30日

## 2025年5月の市場動向

◎5月の世界株式は6.0%程度の上昇（MSCI世界株式指数;配当込;現地通貨ベース）となりました。5月の世界株式市場は上昇傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約6.5%の上昇、ドイツでは約6.3%の上昇、フランスでは約3.7%の上昇、イギリスでは約3.4%の上昇となりました。日本国内の株式は約5.3%の上昇となりました。
◎5月の世界債券は0.8%程度の下落（JPモルガン世界国債指数；現地通貨ベース）となりました。5月の世界債券市場は下落傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約1.0%の下落、ドイツでは約0.4%の下落、イギリスでは約1.3%の下落となりました。日本国内の債券は約1.3%の下落となりました。

## 投資対象の評価（リバランス時）

<資産クラス間配分>*
資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株／小型株の配分に関しては、モメンタムの観点からやや弱気の見通しとしている。一般優良株／テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点から中立の見通しとしている。

<株式国別配分>
株式国別配分においては、カナダやスペインに対して強気の見通しとする一方で、スウェーデンやフランスに対して弱気の見通しとしている。カナダに対しては、リスクプレミアムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。スペインに対しては、バリューおよびモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、スウェーデンに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。フランスに対しては、リスクプレミアムおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<債券国別配分>
債券国別配分においては、イタリアやオーストラリアに対して強気の見通しとする一方で、イギリスやカナダに対して弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムおよびバリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。カナダに対しては、モメンタムおよびバリューの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<通貨配分>
通貨配分においては、ノルウェーやユーロ圏に対して強気の見通しとする一方で、カナダやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。ノルウェーに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、カナダに対しては、ファンドフローの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

※ 円短期金融商品･･･一般的に割引国債、コールローン等を指します。また、非円建ての短期金融商品に投資しこれを円ヘッジする場合もあります。
本資料中の資産構成、投資対象の評価等は、過去の一時点におけるものであり、以後変更される場合があります。
＊ 株式／債券／円短期金融商品間の資産配分、大型株／小型株間の配分および一般優良株／テクノロジー株間の配分を含みます。

MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI当事者」といいます）は、MSCIの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
## 世界バランスファンド FIA

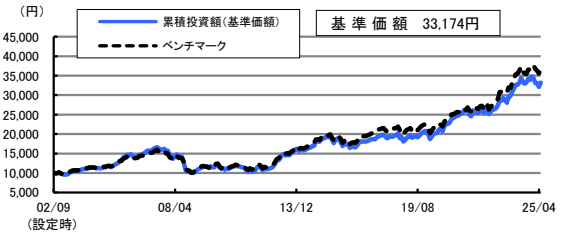
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・バランス・ファンドVA1（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

### 主要投資対象
日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品。主にフィデリティ・バランス・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

### 運 用 方 針
主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および短期金融商品に分散投資し、合成ベンチマークの配分を中心とした資産配分によって投資成果の獲得を目指します。

## 設定来の運用実績　（2025年5月30日現在）




※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

| 純資産総額 | 5.6 億円　（2025年5月30日現在） |
|---|---|

## 累積リターン　（2025年5月30日現在）

| | 直近1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | 3.43% | 0.26% | −2.15% | 0.09% | 30.19% | 231.74% |
| ベンチマーク | 3.51% | 0.24% | 0.53% | 1.39% | 37.93% | 267.77% |

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ベンチマーク：複合ベンチマーク（円ベース）
複合ベンチマーク（円ベース）は、TOPIX（配当込）＊1(25%)、MSCIワールド・インデックス(除く日本/税引前配当金込)＊2(25%)、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（為替ヘッジなし、円ベース）＊3(50%)から構成されています。
複合ベンチマーク（円ベース）は設定から2023年2月末まではTOPIX（配当込）(25%)、MSCI ワールド・インデックス（除く日本/税引前配当金込）(25%)、FTSE日本国債インデックス（日本円ベース）(15%)、FTSE世界国債インデックス（除く日本）(10%)、FTSE世界マネーマーケット・インデックス1ヶ月ユーロ預金インデックス（円ヒッジ）(15%)、FTSE米短期国債インデックス1ヶ月米国債インデックス(10%)で合成したものでした。ベンチマークについては、これらを連結させて計算しています。
＊1 TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
＊2 合成リターンは、MSCIからライセンス付与された営業時間終了時の指数水準値（以下「MSCIデータ」）を使用してフィデリティ投信株式会社が計算します。疑義を避けるために明記すると、MSCIは合成リターンに対するベンチマークの「管理者」、または「拠出者」、「提出者」、あるいは「監督下にある拠出者」ではなく、またMSCIデータは、いかなる規則、法令、法律または国際基準において定義される、合成リターンに関連する「拠出」または「提出」とみなされません。MSCIデータは、保証や責任を伴わない「現状のまま」提供され、コピーや配布は許可されていません。MSCIは、MSCIデータ、モデル、分析、その他の素材や情報に基づく、または追跡する、あるいはそれらを利用したいかなる金融商品や戦略を含め、いかなる投資または戦略のスポンサー、宣伝、発行、販売、またはその他の推奨あるいは推薦を行なうものではありません。
＊3「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合インデックス（為替ヘッジなし、円ベース）は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、フィデリティ投信株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはフィデリティ投信株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

## コメント　（2025年5月30日現在）

【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が+6.15%、ダウエ業株30種平均は+3.94%、ナスダック指数は+9.56%。米国株式は上昇しました。トランプ政権が関税引き上げ緩和の動きを見せたことから、市場の警戒感は和らぎました。米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長に対する解任要求についてトランプ大統領が否定したことも安心材料となりました。トランプ大統領が大規模な関税引き上げを発表してから米国株式市場は大幅な下げ基調となっていましたが、混乱は収まりを見せました。米国企業の決算は事前の市場予想を上回る発表が相次ぎました。関税の影響が懸念されていましたが、足元の企業業績は底堅い状況であることが確認されました。さらに、米国の雇用環境は就業者数が市場予想を上回る増加となり、米国経済の堅調さが示されました。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は+4.59%。月上旬は、米中貿易摩擦が緩和するとの期待感を背景に投資家心理が改善し、景気敏感株を中心に上昇しました。また、イングランド銀行（英中央銀行）による政策金利の引き下げや米英の貿易協定合意の発表などが好感されました。月中旬は、米中の相互関税の大幅引き下げが発表され、貿易摩擦懸念が後退し、市場は続伸しました。好調な業績を発表した銘柄に買いが入ったことや欧州中央銀行（ECB）の利下げ期待も市場の下支えになりました。月下旬は、ユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）の低下や独長期金利の上昇を受けて、下落しました。その後、トランプ米大統領がEUに対する関税措置の発動を延期すると表明したものの、米関税政策の先行き不透明感が根強く、一進一退の推移となりました。
【日本株式】TOPIX（配当込）は+5.10%。当月の東京株式市場は、トランプ政権の関税政策に対する警戒感が和らいだことを背景に、前月に続き上昇しました。
米国が英国と貿易協定を締結し、中国とは相互追加関税の引き下げに合意するなど、米関税政策が緩和方向に進展するとの期待が高まったことに加え、日米の金融政策が現状維持となったことや、主要企業の2024年度決算発表で自社株買いの設定が相次いだことも押し上げ要因となり、日本株は月半ばまで堅調に推移しました。その後は、米国債の格下げによる財政悪化懸念から米長期金利が上昇し、円高・ドル安が進行したことや、利益確定売りが重なり上値を抑えられる展開となりました。しかし為替が円安に転じたことや、米国が欧州連合（EU）に対する追加関税の発動を延期したことを受けて株価は再び上昇すると、米国際貿易裁判所がトランプ関税の大部分を違法と判断したことや、米半導体大手の好決算なども支援材料となって上値を広げました。ただし、米連邦巡回区控訴裁判所が米国際貿易裁判所の判決執行を一時的に停止する判断を下したことから、最終日は反落し、月の上昇幅をやや縮めて月を終えました。
【海外債券】米国債相場は下落。米10年国債利回りは前月の4.15%から4.39%へ。その他先進国債は下落。ユーロ建10年国債利回りは前月の2.37%から2.43%へ、イギリスの10年国債利回りは4.35%から4.58%へ、カナダの10年国債利回りは2.99%から3.13%へ。
【国内債券】国内債券相場は、NOMURA-BPI国債で−1.36%。10年国債利回りは1.31%から1.50%へ。
【為替】米ドル／円相場は、約1.16%の円安（1米ドル＝142.64円→144.3円）。
ユーロ／円相場は、約1.03%の円安（1ユーロ＝162.15円→163.81円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。）

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。

## 過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

| | |
|---|---|
| 第 19期(2020.11.30) | 0円 |
| 第 20期(2021.11.30) | 0円 |
| 第 21期(2022.11.30) | 0円 |
| 第 22期(2023.11.30) | 0円 |
| 第 23期(2024.12.02) | 0円 |

## ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2025年4月30日現在）

### 株式

| 組入投資信託証券 | 比率 |
|---|---|
| フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド（適格機関投資家専用） | 25.7% |
| フィデリティ・ファンズ－アメリカン・グロース・ファンド | 18.4% |
| フィデリティ・ファンズ－ヨーロピアン・ダイナミック・グロース・ファンド | 3.9% |
| フィデリティ・ファンズ－ヨーロピアン・スモーラー・カンパニーズ・ファンド | 1.0% |
| フィデリティ・ファンズ－アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド | 0.1% |
| フィデリティ・ファンズ－アジア株式・ESGファンド | 0.0% |
| 合計 | 49.3% |

### 債券・短期金融資産等

| 組入投資信託証券 | 比率 |
|---|---|
| フィデリティ・インスティテューショナル・グローバル・ボンド・ファンド（除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家転売制限付き） | 47.1% |
| iシェアーズ・コア　日本国債　ETF | 2.0% |
| 合計 | 49.1% |

（対純資産総額比率）

（ご参考）マザーファンド・ベース　2025年4月30日現在

組入上位5ヶ国・地域

| | |
|---|---|
| アメリカ | 42.7% |
| 日本 | 27.1% |
| ドイツ | 10.6% |
| イギリス | 5.8% |
| 中国 | 2.4% |

組入上位5通貨

| | |
|---|---|
| アメリカ・ドル | 49.4% |
| 日本・円 | 27.1% |
| ユーロ | 12.3% |
| イギリス・ポンド | 5.1% |
| 中国・元 | 2.3% |

（対純資産総額比率）

※フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

**主要投資対象**

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

**運　用　方　針**

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2025年5月30日現在

## ■資産構成

| | 評価金額（円） | 比率 |
|---|---|---|
| 公社債 | 11,990,469,393 | 2.0% |
| （うち固定債） | (11,990,469,393) | 2.0% |
| （うち変動利付債） | (0) | 0.0% |
| 短期金融資産 | 597,842,641,800 | 98.0% |
| （うちコールローン） | (281,644,000,000) | 46.2% |
| （うちCD） | (0) | 0.0% |
| （うちCP） | (0) | 0.0% |
| （うち現先・レポ） | (316,198,641,800) | 51.9% |
| （うち割引手形） | (0) | 0.0% |
| その他資産 | 299,176 | 0.0% |
| 純資産総額 | 609,833,410,369 | 100.0% |

・固定債：変動利付債以外の債券。

## ■基準価額および純資産総額

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 10,000円 |
| 純資産総額 | 6,098.33億円 |

## ■ポートフォリオ特性

| | |
|---|---|
| 平均残存日数 | 4.5日 |

## ■国内（邦貨建）公社債（新株予約権付社債（転換社債）を除く）明細表

| | 額面金額（円） | 評価金額（円） | 残存期間別比率 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1年未満 | 1年以上 | 2年以上 | 5年以上 |
| 国債 | 12,000,000,000 | 11,990,469,393 | 2.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 地方債 | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 特殊債 | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 金融債 | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 普通社債 | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 合計 | 12,000,000,000 | 11,990,469,393 | 2.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

## ■債券の格付分布

| 格付種類 | 比率 |
|---|---|
| AAA格 | 0.0% |
| AA格 | 0.0% |
| A格 | 2.0% |
| BBB格 | 0.0% |
| BB格以下 | 0.0% |
| 無格付 | 0.0% |

## ■短期金融商品(CP・CD)の格付分布

| 格付種類 | 比率 |
|---|---|
| A－1格 | 0.0% |
| A－2格 | 0.0% |
| A－3格 | 0.0% |

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。